

## 「論文」試験の解答のポイントと解答例

### 採点基準

採点基準は、次の2点である。

- a. 論題の趣旨に合った解答が、600～800字にまとめられているかどうか
- b. 表現的的確性、内容の深さ、趣旨の一貫性（筋が通っているかどうか）

### 解答のポイント

今年度の論文試験の論題は、「消費者と生産者の立場からの品質の両立を踏まえ、①製品の生産をどのように考えて進めるのか、②消費者にどのように正しい情報を提供するのか、③消費者から得られた情報をどのように製品品質に活かすのか」について、繊維製品から具体例を一つ想定して論じなさい。」であり、①～③の3つについての解答が求められている。そして、その前提として「消費者と生産者の立場からの品質の両立を踏まえること」、また、「繊維製品から具体例を一つ想定すること」がポイントとなる。また、①～③の3つともに「どのように」が問われており、解答にはそのことが記述されていることが重要である。

記述に当たっては、濃い鉛筆ではっきりと文字を書くなど、他人が見て読みやすいよう心掛ける。誤字、脱字、当て字のないようにする。試験前の「注意」の中で説明された「書き方」に従う。一般に論文試験では、箇条書きは相応しくないとされる。論題と関係のないことが書かれている場合（職歴、受験動機など）は、字数を増やすためと見なされる。

### 解答例

論題の捉え方や想定する繊維製品については受験者によりいろいろな考え方があるので、決まった正解はない。合否は、採点基準に合致しているかどうかによる。解答には、論題の趣旨に合っていることと、内容の深さ、全体として筋が通っていることが求められる。

論題の趣旨を理解した上で、論旨をどう展開していくかの参考として解答例を示す。下記の解答例では、まず、想定する繊維製品（子供服）を述べ、改行して、問われている①～③について述べている。また、①～③の解答には、子供の行動や服の安全性についてどのようにすべきかが述べられており、文章全体としての流れと論旨の一貫性が見られる。

#### [解答例]

子供服を例に、消費者と生産者の立場からの品質の両立について論じる。

製品の生産においては、各工程における品質管理を徹底して行き、製品としての品質を確保する。消費者の求める適正な価格と生産者の求めるコスト低減のため、海外での生産を行うことがあるが、海外生産では、品質を安定させて不良品を減らすため、図や表などを用いたマニュアルを使って円滑なコミュニケーションを取る。また、子供服では、活発に動き回る子供の行動を妨げないようなデザインにすることも安全性につながる。

消費者への情報提供は、販売時や製品のタグを通して行う。子供服は一般に家庭洗濯ができることを重視する消費者が多いため、洗濯時の取扱いについては、販売員から対面で情報提供を行って理解してもらう。また、タグの取扱い表示は適正に行い、家庭洗濯ができるものをドライ表示にすることがないようにする。また、子供服はサイズを選択を誤ると転びやすくなったりして危険なため、適正なサイズを選ぶように消費者に呼びかけ、販売員が必要に応じて試着を勧めるようにする。

消費者から得られた情報は、再発防止システムの改善策や検査方法などに取りまとめ、消費者からの

情報と共に企画から生産現場までの関係する各工程にフィードバックを行い、情報を速やかに共有する。ロット全体に渡ることが考えられる苦情が発生した場合は、速やかに回収や消費者への情報提供を行う。また、商品のデザインや機能性に対するさらなる要望が消費者から伝えられた場合には、生産時のコストと品質の安定とのバランスを考慮した上で、消費者の期待に可能な限り近づけられるよう、デザインや素材の変更を行う。子供服においては、たとえば、子供らしいデザインにしたり、着脱が容易なデザインへの変更、あるいは、吸水性の良い素材にすることで、消費者の期待する品質に近づける。